
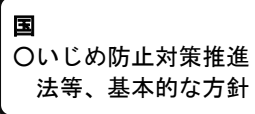
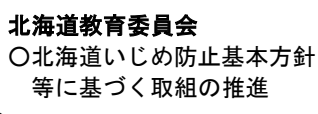
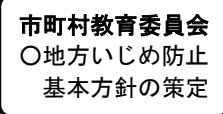


<b>令和3年度 基本評価調書①</b>		所管部局	教育庁	所管課	生徒指導・学校安全課	
施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進			施策コード	11091	
政策体系(中項目)	北海道の未来を拓く人材の育成			政策体系コード	3(2)C	
知事公約	C0029 C0031	総合戦略	A1171	国土強靭化	-	事務事業数 12
SDGs	   			総合判定	概ね順調	

### 【1 Plan】

施策目標	未来を担う子どもたちが健やかに成長できる環境づくりを進めるため、いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応に向けた取組を推進する。					
現状と課題	依然として、多くの児童生徒がいじめに苦しんだり、不登校となっている状況					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒がいじめの問題を自分のこととして捉え考え、議論する主体的な活動の推進や、SNSを活用した相談支援体制の構築など、いじめに対応した取組の充実</li> <li>道徳教育の充実を図るため、指導力向上のための教員研修を推進</li> <li>ふるさと教育の充実を図るため、実践事例交流会や実践事例のWeb掲載による普及啓発</li> </ul>					
予算額(千円)	R3	285,682	R2	306,707	R1	354,552
施策のイメージ						

### ＜成果指標の達成状況＞ ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	%	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
いじめの認知件数のうち、解消している割合(小学校)	目標値		100	100	100	100	97.0%	B
	実績値		97.3	96.9	97.0	-		
設定理由	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向け教育相談体制の充実や児童生徒の人間関係を築く力の育成、関係機関と連携した支援体制の整備・充実に取り組む観点から、指標を設定							
分析(主な取組と成果)								
子ども相談支援センターの相談窓口や教育局の相談電話窓口の周知が進み、いじめの早期発見が進んだことや、学校いじめ対策組織を中心に、各学校において解消に向けた組織的な対応や関係機関と連携した取組が進んだため、解消率が上がったと考えられる。								

指標名②	増加	%	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
いじめの認知件数のうち、解消している割合(中学校)	目標値		100	100	100	100	96.9%	B
	実績値		93.4	96.7	96.9	-		
設定理由	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向け教育相談体制の充実や児童生徒の人間関係を築く力の育成、関係機関と連携した支援体制の整備・充実に取り組む観点から、指標を設定							
分析(主な取組と成果)								
子ども相談支援センターの相談窓口や教育局の相談電話窓口の周知が進み、いじめの早期発見が進んだことや、学校いじめ対策組織を中心に、各学校において解消に向けた組織的な対応や関係機関と連携した取組が進んだため、解消率が上がったと考えられる。								

指標名③	増加	%	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
いじめの認知件数のうち、解消している割合(高等学校)	目標値		100	100	100	100	87.9%	C
	実績値		98.1	94.2	87.9	-		
設定理由	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向け教育相談体制の充実や児童生徒の人間関係を築く力の育成、関係機関と連携した支援体制の整備・充実に取り組む観点から、指標を設定							
分析(主な取組と成果)								
道の基本方針を改定し、いじめの解消要件(行為が止んでから3か月を目途とする)を示したため、要件を満たしていない事案が出ていることや、各学校においていじめの積極的な認知が進み、認知数が増えたことにより、解消率が下がったと考えられる。								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	11091
---------------	-----	--------------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	いじめの認知件数のうち、解消している割合（小学校）	97.3	96.9	97.0	100.0	B
	いじめの認知件数のうち、解消している割合（中学校）	93.4	96.7	96.9	100.0	B
	いじめの認知件数のうち、解消している割合（高等学校）	98.1	94.2	87.9	100.0	C
目標（指標）の達成状況	道の基本方針に基づき、学校いじめ防止基本方針の見直しや、学校いじめ対策組織の活動が適切に行われるよう指導・助言するとともに、教職員のみで解消が困難な事案は、外部専門家チームを派遣して助言を行うなど支援を推進している。				指標総合判定	B
連携状況	「北海道いじめ問題対策連絡協議会」や「地域いじめ問題等対策連絡協議会」を開催し、関係機関・団体と意見交換や情報共有を行い、各地域における関係機関・団体との連携強化を図った。				連携判定	○
緊急性優先性	北海道いじめ問題審議会における委員からの主な意見を踏まえ、地域の学校、PTA、青少年育成団体、警察、教育委員会が参加する連絡協議会を開催し、地域のいじめ・不登校等への取組に反映しているほか、ネット上のいじめから児童生徒を守るための保護者向け講習会等の取組に反映している。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	道内においては依然として多くの児童生徒がいじめに苦しんでいる状況を踏まえ、「北海道いじめ防止等に関する条例」及び「北海道いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止や早期発見、早期解決を図る取組を推進するなど課題等に対応している。				総合判定（一次評価）	概ね順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置、有識者や弁護士などで構成する支援チームの学校への派遣や、子ども相談支援センターにおける解決につなげる支援などによる家庭・地域社会・関係機関と連携した生徒指導・教育相談体制の充実に取り組む。
	②	
	③	

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	地域社会の一員としてまちづくりにかかわる人材を育てる視点も持ち、関係部局との連携を図りながら、研修等の改善・充実に努めること。	対応状況 (R3.3時点)	関係部局と連携を図り、学校に対し「ウポポイ」「ジョバンニの島」の情報提供などの取組を通じて、ふるさとに対する愛着と誇りを育む教育活動の充実に努める。
R3年度二次政策評価			

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	これまでの取組に加え、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置の充実に努めるほか、不登校児童生徒に対してオンラインでカウンセリングを行うことができる体制の整備などを進め、引き続き家庭・地域社会・関係機関と連携した生徒指導・教育相談体制の充実に取り組む。

<b>令和3年度 補助指標調書①</b>	<b>施策名</b>	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	<b>施策コード</b>	11091
----------------------	------------	--------------------	--------------	-------

**【成果指標の達成状況】**

補助指標名①	増加	%	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
いじめに対する意識（小学校）		目標値	100	100	100	100	87.2%	C
		実績値	83.2	88.0	87.2	-		
<b>設定理由</b>	次代の社会を担う子ども・青少年が健全に育成される環境づくりに向け、いじめの未然防止の取組を推進する観点から、指標を設定							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
各管内で「どさんこ子ども地区会議」を開催し、参加した児童がその成果を自校に還元し、いじめの未然防止について主体的な取組の充実につながったものと考えられる。								

補助指標名②	増加	%	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
いじめに対する意識（中学校）		目標値	100	100	100	100	79.3%	D
		実績値	73.5	80.8	79.3	-		
<b>設定理由</b>	次代の社会を担う子ども・青少年が健全に育成される環境づくりに向け、いじめの未然防止の取組を推進する観点から、指標を設定							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
各管内で「どさんこ子ども地区会議」を開催し、参加した生徒がその成果を自校に還元し、いじめの未然防止について主体的な取組の充実につながったものと考えられる。								

補助指標名③	増加	%	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
アイヌの人たちに関する施設や教材を活用した学校の割合（小）		目標値	33.8	47	60.3	100	74.6%	D
		実績値	35.6	46.2	45.0	-		
<b>設定理由</b>	アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習において、施設や人材、動画教材を活用した体験を通じた学習を行うことにより、ふるさと教育の充実に向けた推進状況を把握							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
近くに施設がない地域においては、活用が困難であることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設や人材を活用した教育活動を実施することが困難であったことが要因として考えられる。								

補助指標名④	増加	%	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
アイヌの人たちに関する施設や教材を活用した学校の割合（中）		目標値	19.8	35.1	51.3	100	39.0%	D
		実績値	18.4	29.2	20.0	-		
<b>設定理由</b>	アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習において、施設や人材、動画教材を活用した体験を通じた学習を行うことにより、ふるさと教育の充実に向けた推進状況を把握							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
近くに施設がない地域においては、活用が困難であることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設や人材を活用した教育活動を実施することが困難であったことが要因として考えられる。								

補助指標名⑤	増加	%	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R4)	達成率	指標判定
北方領土に関する施設や教材を活用した学校の割合（小）		目標値	15.1	32.1	49.1	100	25.5%	D
		実績値	13.5	22.6	12.5	-		
<b>設定理由</b>	北方領土に関する学習において、施設や人材、動画教材を活用した体験を通じた学習を行うことにより、ふるさと教育の充実に向けた推進状況を把握							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
近くに施設がない地域においては、活用が困難であることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設や人材を活用した教育活動を実施することが困難であったことが要因として考えられる。								

令和3年度 補助指標調書①	施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	11091
---------------	-----	--------------------	-------	-------

【成果指標の達成状況】

補助指標名⑥	増加	%	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標 (R4)	達成率	指標判定
北方領土に関する施設や教材を活用した学校の割合（中）		目標値	13.7	31.0	48.3	100	21.9%	D
		実績値	13.3	19.9	10.6	-		
設定理由	北方領土に関する学習において、施設や人材、動画教材を活用した体験を通じた学習を行うことにより、ふるさと教育の充実に向けた推進状況を把握							
分析（主な取組と成果）								
<p>近くに施設がない地域においては、活用が困難であることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設や人材を活用した教育活動を実施することが困難であったことが要因として考えられる。</p>								

補助指標名⑦			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名⑧			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名⑨			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名⑩			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								